

公共事業事前評価調書(平成27年度予算要望)

所管課: 道路街路課 担当係: 街路整備班

事業名	久松線街路整備事業	事業区分	街路事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	宮古島市平良字下里地内				
事業の諸元	延長 : L=120m 幅員 : W=12.0m 【車道3.0m×2車線、歩道2.5m×両側、路肩0.5m×両側】				
事業の概要	久松線は、公設市場前の交差点を起点として国道390号久貝(北)交差点を終点とする延長865mの都市計画道路である。沿線には、公設市場や県立宮古病院、宮古総合実業高校等の公共施設が立地しており、接続する平良下地島空港線には平成27年1月に供用予定の伊良部大橋に連結する。 起点側(中心市街地側)280m及び終点側(国道390号側)465mは整備完了しており、今回未整備区間の現道拡幅整備を行うものである。				
事業の必要性・効果等	〈必要性等〉 本事業区間はバス路線であるが、現道幅員が8m程度と狭小なうえ線形不良で視距も悪く、歩道が無い区間も一部あり、通学・通院歩行者や通行車両の安全確保が急務である。 また、本事業区間にある三叉路と終点側の交差点が近接していることから慢性的な渋滞箇所となっていることや、県立宮古病院の移転に伴う交通量の増加が見られ今後は伊良部大橋開通により、更なる交通量の増加が見込まれるため、早期に交差点改良を行う必要がある。 〈効果等〉 安全・安心で快適な歩行空間が確保されるとともに、交差点改良による渋滞緩和が図られる。また、伊良部大橋へのアクセス道路として、地域の活性化に寄与するものである。				
事業期間	事業採択	平成27年度	完了(予定)	平成31年度	
全体事業費	1.1 億円	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
事業着手の熟度・上位計画との整合性	○「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の基本施策である「地域特性に応じた生活基盤の整備」及び「離島における定住条件の整備」に位置づけられている。 ○「沖縄県総合交通体系基本計画」の基本施策である「離島地域内の交通体系の整備」に位置づけられている。 ○「宮古都市計画区域マスタープラン」に整備推進する路線として位置づけられている。				
環境への配慮	現状環境の改変を極力少なくし保身に努める。				
関係する地方公共団体等の意見	宮古島市より、県土木建築部長宛に久松線(県道平良久松線)の未整備区間における早期整備の要請書が提出されている。				
概要図(位置図)					